

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0261

本稿は 2013 年 4 月 8 日から 17 日まで 4 回に分けて「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.4.19
前田 高行

日本の大幅な輸入超過—MENA(中東・北アフリカ)の対日貿易(2012年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その10)

(注)このレポートで取り上げた数値は 2012 年 1-12 月の暦年ベースによるものであり、4 月 18 日に財務省が発表した年度ベースの数値(2012 年 4 月-2013 年 3 月)とは異なります。

目次	頁
1. 2012年の MENA 諸国の対日貿易	
(1)日本の輸入	2
(2)日本からの輸出	2
(3)貿易総額と輸出入バランス	3
2. 2010年～2012年の日本と MENA 諸国の貿易	
(1)日本と MENA 諸国の貿易額及び対中国、対米貿易との比較	4
(2)主な国の輸入額の推移	4
(3)貿易バランス	5

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシ

一ア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル（ユダヤ人）、イラン（ペルシャ人）、トルコ（トルコ人）以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第10回のランキングは、財務省ホームページの貿易統計により2012年の各国と日本の輸出入を比較しました。

* 財務省ホームページ: <http://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>

1. 2012年の MENA 諸国の対日貿易

(MENA 諸国からの輸入額は中国一カ国に匹敵！)

(1)日本の輸入

(表http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-T01.pdf参照)

2012 年の日本の輸入総額は71兆円であったが、そのうち MENA 諸国からの輸入は14兆円であり全体の 20%を占めている。日本の最大の輸入相手国は中国の15兆円であるが、MENA からの輸入はこれに匹敵する規模である。

MENA 地域からの輸入はほとんどが石油或いは天然ガスであり、従ってサウジアラビア、UAE、カタール、クウェイト、オマーンの GCC5カ国及びイラン、イラクが輸入相手国の上位を占めており、これら7カ国だけで MENA 全体の輸入額の 97%に達している。

国別ではサウジアラビアからの輸入額が4.4兆円でトップであり、第2位は UAE(3.5兆円)である。これに次ぐのがカタール(2.9兆円)、クウェイト(1.2兆円)で、これら4カ国が1兆円を超えている。4カ国のうちサウジアラビア、UAE、クウェイトは原油が主たる輸入品であり、カタールは液化天然ガス(LNG)である。

5位以下にもイラン、オマーン、イラクのペルシャ(アラビア)湾の産油国が名を連ね、それぞれの輸入額は 6,400 億円、5,500 億円、2,240 億円であった。イランについては後述するように前年(2011年)はクウェイトとほぼ同額であったが、経済制裁が本格化した 2012 年の輸入は大幅に減少している。

上記の産油・ガス8カ国以外からの輸入額は、例えば第9位のエジプトは 970 億円、10位イスラエル 940 億円、11位トルコ 460 億円に見られるとおりに 1 千億円以下にとどまり輸入総額に占める割合は 1%未満である。

(小国 UAE が最大の輸出相手国。理由はドバイから周辺諸国への再輸出！)

(2)日本からの輸出

(表http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-T02.pdf参照)

2012年の日本の輸出総額は64兆円であったが、そのうち MENA 諸国への輸出は2.7兆円であり全体に占める割合は4.2%である。輸入に占める割合が20%であることに比べ極めて低い。因みに輸入については MENA 及び中国がほぼ同規模14兆円前後であるが、日本の対中国輸出は11兆円台であり日中間の貿易はバランスがとれている(前項参照)。日本とMENAの貿易は日本の大幅な輸入超過という片貿易であることがわかる(次項参照)。

国別にみると MENA で日本の輸出が最も多いのは UAE の7,200億円であり、これに次ぐのがサウジアラビアの6,600億ドルである。UAE の人口は800万人弱(外国人を含む)であり、サウジアラビア(2,800万人)の3分の1以下であるにもかかわらず、輸出額では両国が逆転している。UAE はドバイの自由貿易港を通じた GCC、東アフリカ、中央アジア等の国々への再輸出が多いためである。

UAE、サウジアラビアに次ぐ日本からの輸出第3位の国はオマーンであるが、その輸出額は2,900億円であり、両国と大きな開きがある。4位以下はトルコ(1,900億円)、クウェイト(1,500億円)、エジプト(1,400億円)、カタール(1,200億円)、イスラエル(1,100億円)と続くが、9位のバハレーン以下は輸出額1,000億円未満である。

(石油・LNG の輸入で日本の大幅な輸入超過11兆円！)

(3)貿易総額と輸出入バランス

(表http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-T03.pdf参照)

(図http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-G01.pdf参照)

輸出と輸入を合わせた MENA と日本の貿易総額は16兆円で米国とほぼ並ぶ金額であり、日本の総貿易額(134兆円)の12%を占めている。

国別にみると貿易額が最も多いのはサウジアラビアであり、同国と日本の貿易額は5兆円、MENA 全体の3割を占めている。第2位は UAE の4兆円(26%)、第3位カタール(3兆円)、第4位クウェイト(1.4兆円)、第5位オマーン(8,300億円)と GCC の産油・ガス国が並んでおり、6,7位にも産油国のイラン、イラクである。これら7カ国だけで MENA と日本の貿易の88%を占めている。第8位、9位はトルコ及びエジプトであるが、両国と日本との貿易額は共に2,400億円であり、サウジアラビアの20分の1にすぎない。

輸出入の差額の貿易バランスでは、MENA 全体では11兆円の大幅な日本の輸入超過である。これは言うまでもなく石油或いは天然ガスの輸入によるものであり、特にサウジアラビア(-3.7兆円)、UAE(-2.8兆円)、カタール(-2.7兆円)、クウェイト(-1.1兆円)の GCC4カ国に対する輸入超過額が大きい。

日本の輸出超過となっている国はトルコ、エジプトなど10カ国あるが、いずれも超過額は少なく、もっとも多いトルコで1,500億円、エジプトを含むその他の国の輸出超過額はいずれも500億円以下である。

2. 2010年～2012年の日本と MENA 諸国の貿易

(対米貿易と並ぶ規模になったMENA との貿易額！)

(1)日本と MENA 諸国の貿易額及び対中国、対米貿易との比較

(表http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-T04.pdf参照)

(図http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-G03.pdf参照)

2010年から2012年までの3年間の日本と MENA19カ国1機関(パレスチナ自治政府)との貿易総額(輸出と輸入の合計額)は、2010年13.3兆円、2011年15.4兆円、2012年16.5兆円であり、3年間で20%増加した。これは言うまでもなくサウジアラビア、カタールなど MENA の産油(ガス)国からの石油或いは LNG の輸入が急増したためであり、輸出はむしろ減少或いは停滞している。

すなわち日本から MENA への輸出額は2.7兆円→2.4兆円→2.7兆円と伸び悩んでいるのに対して、輸入額は2010年の10.5兆円が2011年には13.0兆円に急増し、2012年も13.8兆円に増加している。輸入額が増加した最大の理由は東日本大震災のため国内の原発が全面的に停止し、サウジアラビア、カタールなど MENA の産油・ガス国から代替燃料として石油・天然ガスの輸入が急増したためである。特にカタールからの天然ガス(LNG)の輸入が急増しており、LNG 価格が高騰したこともあり、数量及び金額の両面で輸入額が大幅に増加している。

日本の対 MENA 貿易を対米或いは対中国貿易と比べると、2010年の対 MENA 貿易は上記のとおり13.3兆円であった。これに対し同年の対米貿易額は16.3兆円、対中貿易額は26.5兆円であり、対 MENA 貿易は対米貿易の8割、対中貿易の1/2にとどまっている。

しかしその後の対 MENA 貿易は輸入が急増したことにより3年間の増加率は20%に達している。それに対して対米貿易は2011年15.9兆円、2012年17.3兆円と3年間の増加率は5.7%にとどまっている。また対中貿易はこれをさらに下回っており26.5兆円→27.5兆円→26.5兆円であり3年間の伸び率はわずか0.2%に過ぎない。特に2011年から2012年にかけて大きく落ち込んでおり、これは尖閣諸島問題をめぐる政治的緊張が日中貿易に影響したためと考えられる。

この結果、2012年の対 MENA 貿易額と対米貿易額は殆ど差がなくなり、対中貿易と比べても6割強の規模になっているのである。

(3年で50%伸びたカタール。逆にイランは35%減少！)

(2)主な国の輸入額の推移

(図http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-G02.pdf参照)

2010年から2012年までの3年間のサウジアラビア、UAE、カタール及びイラン4カ国の輸入の推移をみると、サウジアラビアの場合2010年の輸入額は3.1兆円であり、その後2011年には4兆円に急増、2012年は4.4兆円に達し、3年間に40%近く輸入額が増えている。UAE も同様に2010年の2.6兆円が2012年は37%増の3.5兆円であった。

カタールからの輸入の伸びはこれら2カ国を上回り、1.9兆円(‘10年)→2.4兆円(‘11年)→2.9兆円(‘12年)と毎年の増加率は20%強を記録、3年間で1.5倍に急増している。これは言うまでもなく2011年の東日本大震災を契機に同国からのLNG輸入が急増したためである。これに対しイランの場合は2010年の輸入額9,800億円が2012年には6,400億円と35%減少している。GCC3カ国からの輸入が急増しているにもかかわらず同じ中東の産油国であるイランからの輸入が急減したのは同国に対する国際的な経済制裁措置に日本も加わったためである。

(赤字に転じた日本の貿易収支。主な原因は対 MENA 貿易！)

(3)貿易バランス

(図http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/10-G04.pdf参照)

過去3カ年の日本の貿易バランスについてここではサウジアラビア、カタールの2カ国及び MENA 19カ国(合計)、さらに中国、米国、全世界を比較してみる。

サウジアラビア及びカタールとの貿易バランスは日本の大幅な輸入超過が続いている。サウジアラビアと日本では2010年の貿易バランスは-2.6兆円であったが、その後も-3.5兆円(‘11年)、-3.7兆円(‘12年)と貿易の赤字幅が拡大している。カタールの場合は-1.8兆円→-2.3兆円→-2.7兆円と赤字幅が一層拡大している。MENA 諸国にはこのほかクウェイト、UAE、イラクなど産油国が多いため、MENA 諸国と日本の貿易バランスは赤字幅がさらに大きい。2010年、‘11年、‘12年の赤字はそれぞれ-7.8兆円、-10.6兆円、-11.1兆円であり10兆円の大台を超えてさらに悪化しつつある。

日本全体の貿易バランスは2010年には6.6兆円の黒字であったが、2011年は-2.6兆円の赤字に転落、2012年は-6.9兆円に拡大している。中東産油(ガス)国との貿易赤字が日本全体の貿易バランスを崩した大きな要因であることは明らかである。因みに対中貿易では過去3年間マイナスの状況が続いており赤字幅も0.3兆円→1.7兆円→3.5兆円と急速に悪化している。世界経済の停滞に加え日中関係がこじれていることがその原因であろう。一方対米貿易は5兆円前後の黒字が続いており安定している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

ⁱ MENA シリーズ 2 「MENA 諸国の人口と平均寿命」参照。
http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/2-T01.pdf